

令和 7 年度 第 18 回 旭川大成デイサービスセンター運営推進会議 次第

日時 令和 7 年 8 月 28 日（木） 11時00分～

場所 旭川盲人福祉 別館 多目的室(2階)
旭川市7条通り14丁目66番地の16

1 開会 参加者自己紹介

2 議題 事業所より報告事項

① 令和6年度の収支状況報告

資料 1 P ～ 4 P

② 利用者状況等、職員体制、設備点検等の報告

資料 5 P ～ 8 P

③ 運営推進会議 構成員一覧表

資料 9 P

3 議題 参加者からの助言、要望、質問など

4 閉会 時期開催2月予定

令和 7 年度 第 18 回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	旭川大成デイサービスセンター(事業所番号:0172901415) 旭川市7条通14丁目66番地の16 TEL29-3066		
開催日時	令和 7 年 8 月 28 日 (木)		
開催場所	旭川盲人福祉別館 居宅介護事業所(2階)		
参加者	地域住民代表 2 名 利用者(家族)代表者 2 名	行政職員 1 名 知見者 3 名	事業所職員 2 名 その他() 0 名
議題	① 令和6年度の収支状況報告 (別紙資料の添付) ② 利用者状況等、職員体制、設備点検等の報告 (別紙資料の添付) ③ 運営推進会議 構成員一覧表 (別紙資料の添付)		
会 議 録 回 答			

議題

①令和6年度の収支状況報告

質問/ご意見 特になし

②利用者状況等、職員体制、設備点検等の報告

ご意見 令和6年度に実施された避難訓練の内容や、職員による研修・学習の取り組みについての記載があると、活動の充実度がより明確に伝わると思います。
また、「寄り合い大成」「はなまるオレンジカフェ」「ざっくばらんの集い」など、地域交流の取り組みについても概要や地域との関わりを報告することで、地域との連携や施設の社会的役割がより一層際立つ内容になるのではないのでしょうか。

管理者 次回の運営推進会議にて報告します。

③レクレーションの様子資料の説明

質問/ご意見 特になし

④KPI活用による経営改善戦略資料配布

質問/ご意見 特になし

⑤デイサービスにて昼食を試食していただいております。

ご意見 とても手作りで美味しくいただきましたと。メニュー表では伝わらないものを感じました。

管理者 多くの方にご参加いただき、デイサービスの概要をご説明することができました。
ご参加の皆様からは貴重なご意見を頂戴し、感謝申し上げます。
次回は2月の開催を予定しております。

地域密着型通所介護における損益分岐点分析と KPI 活用による経営改善戦略

2025 年 8 月 28 日 菊地 大輔

はじめに

地域密着型通所介護事業は、地域住民の生活支援と介護予防の要として重要な役割を担っている。一方で、介護報酬制度の変動や人材確保の困難さなど、経営的な課題も多い。旭川大成デイサービスでは、経営の安定化とサービス品質の向上を両立させるため、損益分岐点分析と KPI（重要業績評価指標）を活用した経営改善に取り組んでいる。

1. 損益分岐点分析による経営状況の評価

令和 6 年度の実績分析

- 定員：18 名
- 営業日数：309 日
- 最大延べ利用枠：5,562 回
- 実績収入：¥42,299,631
- 実績支出：¥35,357,671
- 事業活動収支差額：+¥6,941,960
- 当期資金収支差額：+¥2,244,019
- 平均単価：¥9,150
- 損益分岐点稼働率：78.7%
- 実績稼働率：83.1%

☆実績稼働率が損益分岐点を上回り、営業・資金面ともに黒字を達成。余剰資金も確保され、安定した運営が実現された。

令和 7 年度（予算ベース）の見通し

- 定員：18 名
- 営業日数：309 日
- 最大延べ利用枠：5,562 回
- 予算収入：¥42,493,000
- 予算支出：¥38,364,000
- 事業活動収支差額：+¥4,129,000
- 当期資金収支差額：+¥1,348,000
- 平均単価：¥9,195
- 損益分岐点稼働率：80.5%
- 実績稼働率（R7.7.31 現在）：80.7%

☆損益分岐点にほぼ一致しており、稼働率がわずかに下がるだけで赤字転落の可能性がある。収支の余裕が小さく、経営リスクが高まっている。

2. KPI 設定と経営改善の方向性

経営改善に向けて以下の KPI（重要業績評価指標）を設定している。

・利用者満足度

サービスの品質向上を目的として、年 2 回のアンケート調査を実施し、平均満足度 90%以上を目標としている。

・稼働率

経営の安定化を図るため、月次の利用実績を集計し、月平均 85%以上の稼働率を目指している。

・職員定着率

人材の安定確保を目的に、離職率を年次で分析し、離職率 10%未満を目標としている。

※令和 6 年度から令和 7 年度にかけて、デイサービス職員の離職者はゼロである。

・新規利用者数

地域ニーズへの対応として、月次の契約数を集計し、年間 20 名以上の新規利用者獲得を目指している。

3. 稼働率向上のための戦略

① キャンセル対策とリカバリー枠の設計

- ・キャンセル率を曜日・利用者別に分析し、予備枠を事前に設定
- ・当日キャンセルのリスクを最小化するための代替利用者の確保体制を構築

② 曜日固定化と偏り是正

- ・曜日ごとの稼働率を分析し、空き曜日への誘導策を実施
- ・送迎時間の調整や活動内容の工夫により、利用者の曜日変更を促進

③ 地域連携による紹介強化

- ・ケアマネ・地域包括支援センターとの定期的な情報交換会を開催
- ・医療機関との連携により、退院後の短期利用を提案
- ・地域イベントや広報活動を通じて認知度を向上

④ 利用者満足度の向上による定着率強化

- ・送迎時間の柔軟な対応で通いやすさを向上
- ・趣味活動や食事内容の希望を反映し、通所意欲を高める
- ・家族への定期的な情報提供により安心感を提供

4. PDCA サイクルによる継続的改善

PDCA サイクル（Plan・Do・Check・Act）に基づく継続的な改善活動を実施している。

Plan（計画）：利用者満足度や稼働率、職員定着率などの KPI をもとに、改善すべき課題を明確化し、具体的な目標と施策を立案。

Do（実行）：計画に基づいた取り組みを現場で実施し、職員間での情報共有や業務の標準化を図る。

Check（評価）：実施した施策の成果を定期的に評価し、KPI の達成度や現場の声をもとに、改善点を抽出。

Act（改善）：評価結果を踏まえて施策の見直しや新たな取り組みを導入し、次のサイクルへとつなげる。

補足：稼働率の向上は経営上重要な指標ですが、サービスの「質」や職員の負担とのバランスを取ることも不可欠である。職員が安心して働ける環境を整えることは、定着率の向上やモチベーションの維持にもつながり、結果として利用者へのサービス向上にも寄与する。理想的な運営とは、数値だけでなく、現場の声や働く人の満足度にも目を向けた、持続可能な改善活動である。

おわりに

旭川大成デイサービスでは、損益分岐点分析と KPI を活用することで、経営の可視化と改善を実現している。今後も、稼働率向上とサービス品質の両立を目指し、地域に根ざした持続可能な介護サービスの提供に努めていく所存である。

旭川大成デイサービスセンター 損益分岐点管理票

2025.8.1 菊地

年度	定員	営業日数	最大延べ利用枠	実績／予算収入	実績／予算支出	事業活動収支差額	施設整備等～差額	その他の活動～差額	当期資金収支差額	平均単価	損益分岐点収入	損益分岐点利用回数	損益分岐点稼働率	実績稼働率
令和6年度	18	309	5562	42,299,631	35,357,671	6,941,960	-744,000	-3,953,941	2,244,019	9,150	40,055,612	4377.7	78.7%	83.10%
令和7年度	18	309	5562	42,493,000	38,364,000	4,129,000	-496,000	-2,285,000	1,348,000	9,195	41,145,000	4474.7	80.5%	80.67%

↑ R7.7.31
現在
4月～7月累計

前月末累計稼働率 80.7% 前月対比 -0.03%

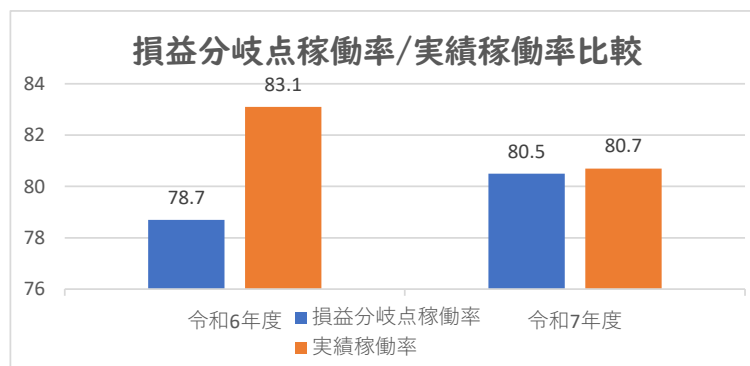
年度	定員	営業日数	最大延べ利用枠	R7予算収入	実績／予算支出	事業活動収支差額	施設整備等～差額	その他の活動～差額	当期資金収支差額	平均単価	予算達成収入	予算達成利用回数	予算達成稼働率	実績稼働率
令和7年度	18	309	5562	42,493,000	38,364,000	4,129,000	-496,000	-2,285,000	1,348,000	9,195	42,493,000	4621.3	83.1%	80.67%

令和7年度については、支出部分は予算書ベース

予算対比 -2.41%

その他の活動費については居宅へのサービス区分間繰入金も加味しています。

実績額が変動あれば、損益分岐点収入や損益分岐点稼働率も変動します。



旭川大成デイサービスセンター
地域密着型通所介護（デイサービス）利用者様アンケート

いつもデイサービスをご利用いただきありがとうございます。
今後のサービス向上のため、皆様のご意見をお聞かせください。
ご記入は☑をつけるだけで結構です。ご協力よろしくお願いいたします。

1. サービス全体について

- ・このデイサービスに満足していますか？

☐ とても満足 ☐ 満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満

2. 職員の対応について

- ・職員の挨拶や態度はどうですか？

☐ とても良い ☐ 良い ☐ ふつう ☐ やや悪い ☐ 悪い

- ・困ったときに相談しやすいですか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

3. 施設的环境について

- ・施設は清潔に保たれていますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

4. 活動・レクリエーションについて

- ・活動の内容に満足していますか？

☐ とても満足 ☐ 満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満

- ・もっとやってみたい活動があれば教えてください：

5. 食事・おやつについて

- ・食事の味や量に満足していますか？

☐ とても満足 ☐ 満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満

6. 送迎サービスについて

・送迎の時間や対応に満足していますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

7. 利用時間について

・デイサービスの利用時間はちょうどよいと感じますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

8. 個別対応について

・自分の体調や希望に合わせた対応をしてもらえていますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

9. 安心感について

・デイサービスにいるとき、安心して過ごさせていますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

10. 他の利用者との交流について

・他の利用者との会話や交流を楽しめていますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

11. 健康管理について

・血圧測定や健康チェックなど、体調管理がしっかりされていると感じますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

12. 入浴サービスについて（該当者のみ）

・入浴サービスに満足していますか？

☐ とても満足 ☐ 満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満

13. 季節の行事やイベントについて

・季節ごとの行事（例：お花見、敬老会など）を楽しめていますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

14. 連絡・情報提供について

・職員からの連絡や説明はわかりやすいですか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

15. 利用開始時の説明について

・初めて利用したときの説明はわかりやすかったですか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

16. 緊急時の対応について

・体調不良や緊急時の対応に安心感がありますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

17. ご意見・ご要望（自由記述）

・デイサービスについて、気づいたことや改善してほしいことがあればご記入ください。

ご記入ありがとうございました。

今後のサービス向上に活かしてまいります。

このアンケートは、皆様のご意見をもとに、より良いサービス提供を目指すためのものです。 個別のご要望や改善に活かすため、差し支えなければお名前のご記入をお願いいたします。

※ご記入いただいた内容は、職員間で共有し、サービス向上の目的以外には使用いたしません。

【お名前】 _____

【ご記入日】 _____年____月____日

※お名前の記入は任意です。無記名でもご回答いただけます。

顧客満足度の算定方法

1. 点数配分のルール

各設問の回答に対して、以下のように点数を割り当てます。

【5段階評価の設問】

(例：とても満足～不満、とても良い～悪い)

- とても満足／とても良い：5点
- 満足／良い：4点
- ふつう：3点
- やや不満／やや悪い：2点
- 不満／悪い：1点

【3択形式の設問】

(例：はい／いいえ／わからない)

- はい：5点
- わからない：3点
- いいえ：1点

2. 設問数と最大得点

アンケートのうち、点数化できる設問は以下の通りです：

- 5段階評価：5問（設問番号：1, 2, 4, 5, 12）
- 3択形式：11問（設問番号：3, 6～11, 13～16）
- 合計：16問
- 最大得点：16問 × 5点 = 80点

※ 自由記述（設問17）は点数化せず、別途内容分析に使用します。

3. 満足度スコアの算出方法

各回答者の満足度スコアは以下の式で算出します：

$$\text{満足度（\%）} = (\text{回答者の合計点}) \div 80 \times 100$$

例：

回答者 A の合計点が 72 点の場合

→ $72 \div 80 \times 100 = 90.0\%$

4. 全体平均の算出方法

複数人の満足度スコアを集計し、平均値を算出します。

- A さん：90.0%
 - B さん：83.8%
 - C さん：100%
- 平均満足度 = $(90.0 + 83.8 + 100.0) \div 3 = 91.3\%$

5. 補足分析（任意）

- カテゴリ別平均点（例：職員対応、施設環境など）を算出すると、改善すべき領域が明確になります。
- 自由記述欄は、ポジティブ／ネガティブな意見の傾向やキーワードの出現頻度を分析します。
- 満足度の分布（例：80%以上の利用者の割合）をグラフ化すると、視覚的に把握しやすくなります。

6. Excel での集計例（簡易）

回答者	設問 1	…以下略	設問 16	合計点	平均点数	満足度
A 氏	5		5	72	4.5	90.0
B 氏				67	4.2	83.8
C 氏				80	5.0	100.0
平均満足度						84.7

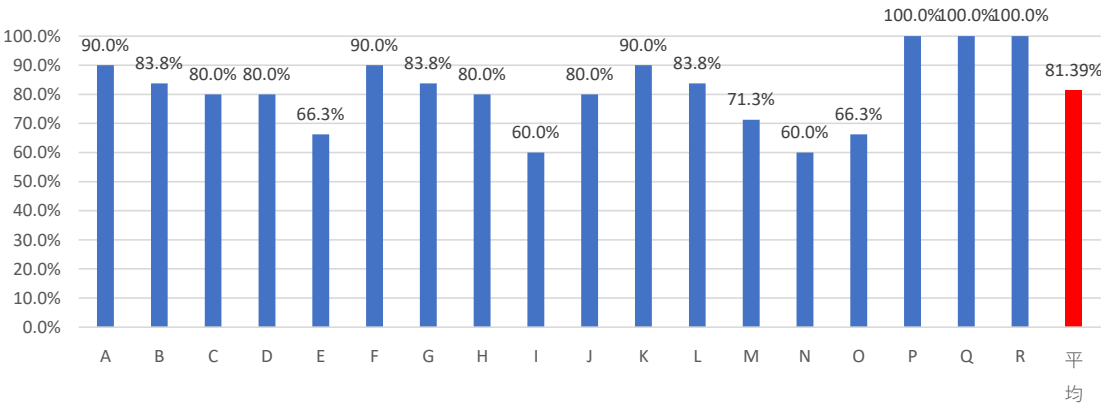
※ 満足度（%） = 合計点 ÷ 最大得点（80 点） × 100

ディアンケート調査
年 月 実施分

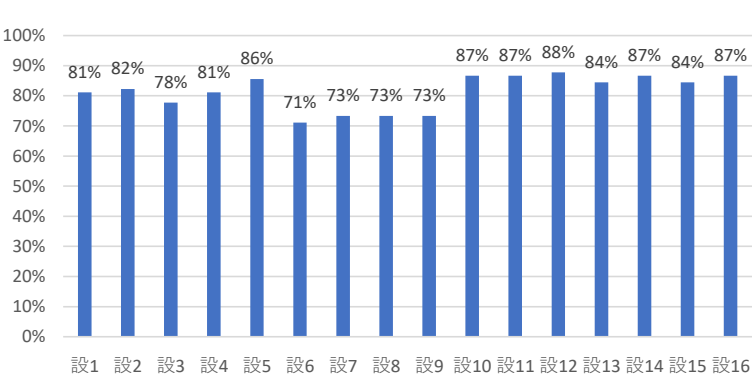
5段階評価：5問 最大30点
3段階評価：11問 最大50点
合計 16問 最大80点

		5段階		5段階		5段階		5段階		5段階												
No.	回答者	設1	設2	設3	設4	設5	設6	設7	設8	設9	設10	設11	設12	設13	設14	設15	設16	合計	平均	満足度		
1	A	5	5	5	5	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	72	4.5	90.0%		
2	B	4	4	3	4	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	67	4.2	83.8%		
3	C	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	64	4.0	80.0%		
4	D	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	64	4.0	80.0%		
5	E	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	53	3.3	66.3%		
6	F	5	5	5	5	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	72	4.5	90.0%		
7	G	4	4	3	4	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	67	4.2	83.8%		
8	H	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	64	4.0	80.0%		
9	I	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	48	3.0	60.0%		
10	J	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	64	4.0	80.0%		
11	K	5	5	5	5	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	72	4.5	90.0%		
12	L	4	4	3	4	5	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	67	4.2	83.8%		
13	M	1	2	3	1	2	3	5	5	5	5	5	4	3	5	3	5	57	3.6	71.3%		
14	N	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	48	3.0	60.0%		
15	O	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	53	3.3	66.3%		
16	P	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	80	5.0	100.0%		
17	Q	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	80	5.0	100.0%		
18	R	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	80	5.0	100.0%		
	平均	4.1	4.1	3.9	4.1	4.3	3.6	3.7	3.7	3.7	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.3	65.1	4.1	81.39%		
設問毎の満足度		81%	82%	78%	81%	86%	71%	73%	73%	73%	87%	87%	88%	84%	87%	84%	87%					

顧客満足度



設問毎の満足度



旭川大成デイサービスセンター PDCAサイクル

Plan:計画

月度	目標稼働率	延べ利用枠	改善対象	施策案①	施策案②	施策案③	担当者
2025年9月	85%	468	月曜・金曜の稼働率低下	曜日変更提案	キャンセル予備枠設定	要支援者利用拡充	管理者・相談員

Do:実行

実施内容	担当者	実施日	実施状況	備考
ケアマネへの曜日変更提案	生活相談員	2025/9/5	実施済み	3名に提案
キャンセル予備枠設定	生活相談員	2025/9/1	実施済み	欠席者発生に伴い他の要介護帯へ出席案内
要支援者利用拡充	管理者	2025/9/10	実施済み	4名案内済み

Check:改善

評価項目	目標	結果	コメント
月平均稼働率	85%	81%	惜しくも未達成
キャンセル率	5%	9.0%	予備枠が有効
新規利用者数	2	3名増加	要支援受入増
利用者延人数	最大利用延枠	キャンセル回数	予定利用回数
378	468	35	390

Act:改善

改善策	次回計画への反映内容
月曜の送迎時間調整	2025年10月のPlanに追加
キャンセル予備枠継続	月次で枠数見直しながら運用

改善策へのアドバイス

① 介護帯利用者の獲得強化

◇ 目標設定の再構築

現在の目標は「ケアマネ1人あたり月44名定員」ですが、損益分岐点稼働率を基準にした現実的な目標に再設定を。

例：介護帯利用者を月5名増加すれば、稼働率は約4%改善 → 年間60名増で損益分岐点到達可能。

◇ 区分変更者の囲い込み戦略

デイサービス利用者が支援→介護へ区分変更する際、包括支援センターに戻る前に居宅が受け入れる仕組みを強化。

対策： デイ職員と居宅ケアマネの連携強化（区変予定者の事前共有）

包括支援センターとの協定（区変時の優先紹介）

② 紹介ルートの多様化

◇ 医療機関・訪問看護ステーションとの連携

特に退院後の在宅支援が必要な高齢者に対して、居宅ケアマネの介入タイミングを早める。

対策： 地域医療連携室への営業訪問

訪問看護ステーションとの情報交換会の開催

◇ デイサービス事業所とのクロス紹介

取引のある介護事業所に対して、「区分変更時の居宅受け入れ可能性」を明示。

対策： 紹介カードやパンフレットの作成

月次で紹介件数をKPI化し、事業所別に分析

③ ケアマネの稼働率改善支援

◇ 稼働率の個別フィードバック

ケアマネ別の稼働率を月次で可視化し、目標達成率を共有。

例：森さん→56.1%、田中さん→55.3% → 個別面談で課題と支援策を整理

④ 改善の方向性まとめ

繰入金依存からの脱却には、介護帯利用者の獲得が最重要。

紹介ルートの多様化と区分変更者の囲い込みが鍵。

ケアマネの業務支援とKPI管理で、現場のモチベーションと成果を両立。

旭川大成居宅介護支援事業所 損益分岐点管理表

年度	年間定員 44名×月×ケア マネ3名	実延べ人数 (要支援)	実延べ人数 (要介護)	換算延べ人数 (要支援×1/3+ 要介護)	認定調査(年 間)	実績収入(円) 居宅介護収入(介護)	受託事業収入(要支 援)	受託事業(公費) 認定調査	利息	事業活動収入合 計	事業活動支出	事業活動収支 差額	その他の活動 (退職給付)	当期資金収支差額※ サービス区分繰入/ 長期借入返済は考慮 しない	平均単価	損益分岐点収入	損益分岐点 延べ人数 (換算)	損益分岐 点稼働率	実績稼 働率
令和6年度	1584	483	804	965	33	12,421,210	1,892,630	161,676	607	14,476,123	15,364,283	-888,160	-310,080	-1,198,240	14,608.2	15,674,363	1073	67.74%	60.92%
令和7年度	1584	560	857	1,044	24	12,991,000	2,186,000	114,000	0	15,291,000	15,907,000	-616,000	-297,000	-913,000	15,161.3	16,204,000	1069	67.47%	55.43%
		予算書内訳書から算定した人数																	↑7.31 現在 4月～7月累 計
		介護1・2																	
		介護1(公費)																	
		介護3-5																	

居宅介護支援事業所の損益分岐点算定においては、現状として大成デイから繰入金によって維持しているので、その他の収入については繰入部分は考慮せず算定

前月末累計 56.6% 前月対比 -1.2%

年度	年間定員 44名×月×ケア マネ3名	実延べ人数 (要支援)	実延べ人数 (要介護)	換算延べ人数 (要支援×1/3+ 要介護)	認定調査(年 間)	予算収入 居宅介護収入 (介護)	受託事業収入 (要支援)	受託事業(公費) 認定調査	利息	事業活動収入合 計	事業活動支出	事業活動収支 差額	その他の活動 (退職給付)	当期資金収支差額※ サービス区分繰入/ 長期借入返済は考慮 しない	平均単価	予算達成収入 (居宅介護・受託事業要 支援の合計)	予算達成延 人数	予算達成稼 働率	実績稼働 率
令和7年度	1584	560	857	1,044	24	12,991,000	2,186,000	114,000	0	15,291,000	15,907,000	-616,000	-297,000	-913,000	15,161.3	15,177,000	1001	63.20%	55.43%

予算対比 -7.77%

R6	介護度	単価	人数	人数支援1/3	収入総額	
支援	1・2	3,850	483	161.0	1,859,550	平均単価
介護	1・2	14,090	526	526	7,411,340	
介護	3・4・5	17,340	280	280	4,855,200	
			1289	967.0	14,126,090	14608.2
R7	介護度	単価	人数	支援1/3	収入総額	
支援	1・2	3,850	560	186.7	2,156,000	平均単価
介護	1・2	14,090	605	526	8,524,450	
介護	3・4・5	17,340	252	280	4,369,680	
			1417	992.7	15,050,130	15161.3

平均単価については ← 支援の稼働率算定の1/3の特殊性に鑑みて 単価算定においては支援は1/3名：3,850と算定しています。	
青セル	※上記居宅介護収入+受託事業収入＝14,313,840との差額187750 と一致しないのはR5年度月差分(R6年度請求)、入院加算、初回加算によるもの
緑セル	※上記居宅介護収入+受託事業収入＝14,313,840との差額187750 と一致しないのは入院加算、初回加算によるもの

目標数値

ケアマネ	定員	介護	予防(実人数)	予防1/3換算	稼働率
A	44	23	20	6.67	67.4%
B	44	23	20	6.67	67.4%
C	44	23	20	6.67	67.4%
事業所合計	132	69	60	20.00	67.4%

↑
損益分岐点稼働率に一致

令和7年7月31日現在 7月請求ベース

ケアマネ	定員	介護	予防(実人数)	予防1/3換算	稼働率
A	44	19	17	5.67	56.1%
B	44	19	12	4.00	52.3%
C	44	17	11	3.67	47.0%
事業所合計	132	55	40	13.33	51.8%
	目標対比	-14	-20	-6.67	-15.7%
	目標達成率	79.7%	66.7%	66.7%	76.8%

○早急な稼働率向上のために、介護帯を多く契約したいところではあるが、介護帯利用者の目標達成までは、予防帯を受け入れ地道な利用者確保
○目標達成までの過程において、空きがある現状では予防を受け入れることによる維持、介護帯への区変も期待。
○現状デイの利用者が区分変更で、支援⇒介護の際にデイから担当包括へ、当居宅で担当移行を進めている。但し、紹介ルートが限られている。
○当事業所としても、能動的に、取引のある介護事業所に働きかけ、区変により包括からの担当移行が伴う場合、当事業所が受入可能であることを取引先事業所を仲介して、包括に働きかける仕組みを構築する。
※目標達成率「79.7%」は、各ケアマネジャーに設定された目標稼働率（損益分岐点稼働率）に対する達成率を示しています。
実際の稼働率や定員に対する達成率とは異なる指標であり、経営上の収支均衡とは直接の比較対象ではありません。

居宅介護支援事業所の稼働率低下（6月：54%）に対する改善策は十分か？

回答例：稼働率の低下には、認定調査員の不足による認定遅延といった制度的な課題が背景にある一方で、事業所内部にも改善の余地があると認識しております。**当事業所では、内的要因への取り組みも強化しております。**また、利用者やご家族との信頼関係の構築にも注力しており、初回面談時の対応品質向上や、定期的なフォローアップの充実を通じて、サービス継続率の向上を図っています。**さらに現在では、取引先の介護事業所に対して、地域包括支援センターが担当している要支援の利用者が要介護へ移行した際に、当居宅介護支援事業所へ担当を移行していただけるよう、地域包括支援センターとの仲介をお願いする取り組みも進めております。**このように、既存の地域連携を活かしながら新たな利用者の受け入れにつなげ、稼働率の安定化を図っています。

こうした内外両面からの取り組みを通じて、制度的制約の中でも可能な限りの改善を図り、稼働率の回復と安定化に向けて着実に前進してまいります。

○法的な問題点の有無について

現時点では、居宅介護支援事業所が取引先の介護事業所を通じて、地域包括支援センターに対し担当移行の仲介を依頼すること自体に、明確な法的違反はありません。ただし、以下の点に留意する必要があります。

○留意すべき法的・制度的観点

・利用者の選択権の尊重

介護保険制度では、利用者が自らサービス事業者を選択する権利が保障されています。そのため、担当移行の働きかけが「事業所都合による囲い込み」や「利用者の意思を無視した誘導」と受け取られないよう、利用者本人の意思確認と同意取得が不可欠です。

・地域包括支援センターの中立性の確保

地域包括支援センターは、地域の介護予防支援を担う中立的な機関です。特定の居宅介護支援事業所への偏った紹介や誘導は、公正中立性の観点から問題視される可能性があります。そのため、仲介依頼はあくまで「選択肢の提示」や「情報提供の一環」として行い、包括支援センターの判断を尊重する姿勢が重要です。

・事業所間の関係性と倫理的配慮

取引先の介護事業所に対して仲介を依頼する際も、営業的な圧力や不適切な誘導と誤解されないよう配慮が必要です。あくまで地域連携の一環として利用者の利益を最優先にした対応が求められます。

○ポイント

・利用者が要介護認定を受けたタイミングで、地域包括支援センターが居宅介護支援事業所を選定するプロセスに則って、当居宅が候補の一つとして紹介されるよう、事前に関係性を築いておくことは有効です。

・仲介依頼を行う際は、文書や面談での記録を残し、透明性を確保することが望ましいです。

つまり、制度上の枠組みを逸脱しない限り、今回の取り組みは法的に問題があるとは言えませんが、運用にあたっては「利用者の意思」「地域包括支援センターの中立性」「事業所間の倫理的関係性」の3点を慎重に扱うことが重要です。

仲介依頼は「営業」ではなく「地域連携の深化」として位置づけることが重要です。

令和7年9月1日

〇〇介護事業所 御中

地域包括支援センターとの連携に関するご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当事業所の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、貴事業所にてご利用中の利用者様のうち、地域包括支援センターが担当されている要支援の方が、今後要介護認定を受けられる可能性がある場合につきまして、当居宅介護支援事業所への担当移行をご検討いただけますようお願い申し上げます。

つきましては、地域包括支援センターとの調整が必要となるため、該当のケースがございましたら、当事業所へのご一報とあわせて、地域包括支援センターへのご連絡・ご相談をお願いできればと存じます。

本件は、地域の連携強化と利用者様への継続的な支援体制の構築を目的としたものであり、利用者様の意向を最優先に、適切な支援が行えるよう努めてまいります。

何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

旭川大成居宅介護支援事業所

管理者 森 美幸

電話：0166-29-3088

FAX：0166-26-6008

Email：taisei-kyotaku@a-koufu.jp

【別紙】説明資料（概要）

■背景と目的

- 地域包括支援センターが担当する要支援利用者が、要介護認定を受けた際の支援体制の円滑な移行を図るため、当居宅介護支援事業所への担当移行をお願いする取り組みです。
- 利用者の意向を尊重しつつ、地域内の支援資源を有効に活用し、継続的なケアの提供を目指します。

■依頼内容

- 貴事業所にて地域包括支援センターから紹介された要支援利用者が、要介護認定を受けた場合、当居宅介護支援事業所への担当移行をご検討いただき、地域包括支援センターへの仲介・調整をお願いするものです。

■期待される効果

- 地域内の支援体制の強化
- 利用者の継続的なケアの確保
- 担当ケアマネジャーによる一貫した支援の提供

レクリエーションの様子



夏、好きな千代紙で風鈴を思い思いに作りました。
秋、季節を感じながら落ち葉やほおずきを使ったかわいらしい作品を飾りました。

制作レク



春、桜の頃には、レクで枯れ木に花を咲かせました。
夏祭り、みんなで盆踊りやスマートボール、金魚すくいなどを楽しみました。

季節ごとのレク



年間の行事



敬老の日のお祝い膳、みんなで楽しく頂きました。
敬老会の恒例、相撲ゲーム力士になりきって、大いに盛り上がりました。

